

## 第9節 厚生施設

内および県内の施設を使用して実施している。

関東甲信越大学体育大会は、1997年に第46回を迎え、この大会から3大学が当番大学となる分担方式となり、信州大学（主管）、新潟大学、長岡技術科学大学が当番大学となった。

### 大 学 祭

千葉大学祭は、西千葉地区（千葉大祭）、亥鼻地区（あのはな祭）、松戸地区（戸定祭）の3地区で、学生により組織された大学祭実行委員会が中心となり、毎年11月1日から4日の4日間開催されている。大学祭は、サークル活動の日頃の成果を発表する場としての機能を果たしていたが、近年、参加団体の増加に伴い、模擬店、アイドルショー等お祭りの企画が主となってきている。また、あのはな祭については、実行委員会が組織されないため、1995年度以降は開催されていない。

### サークル・リーダーシップトレーニング

サークル・リーダーシップトレーニングは、集団研修を通じて健全な課外活動のあり方を理解させ、あわせてリーダーシップの要請を図るとともにサークル活動の質的向上に資することを目的に、1976年度から実施された。当初は体育会系サークルを中心に行われていたが、1996年度から文化系および音楽系サークルを含め行われるようになった。

## 第9節 厚生施設

### 第1項 学 寮

1976年度には、現在の状況に近い施設として管理運営されてきた。

医学部男子学生寮（第1学生寮、人生希望寮）は、共に木造老朽化のため建替え、雄翔寮として1979年4月に完成した。大学の厚生施設としての学寮は、経済生活上の援助だけが目的ではなく、集団生活を通じて社会人としての人間形成に寄与する場として運営、管理され、現在にいたっている。

### 第2項 国際交流会館

国際交流会館は、A棟（家族・夫婦室）、B棟（夫婦室）、C棟（単身室）、D棟

(単身室) E棟(単身室)および管理棟から成り立っている。

このうち、C・D・E棟は、留学生寮が建築後30数年経過し老朽化が激しいことから、1994年度および1995年度に建て替えられた。

管理棟は、留学生寮時代の事務室・食堂などを改修した建物で、事務室、コミュニティホール、相談室および和室などを備えている。

会館の管理は、1995年度まで留学生課が行ってきたが、1996年度に、小仲台地区宿舍の集中管理を行うこととなり、職員とともに厚生課に移管された。その後、留学生へよりきめの細かいサービスを行うため、1999年から、留学生課が担当することになった。

### 第3項 学生食堂

西千葉地区キャンパスの学生食堂は、この20年間変わりなく運営されてきたが、施設の老朽化が目立ち、1996年度には、トイレ等大修理を行った。

亥鼻キャンパスは、医学部に食堂があったが、1996年度に附属図書館亥鼻分館新営の際、旧分館を亥鼻団地福利厚生施設として改修し、学校福祉協会が運営し、1階(552m<sup>2</sup>)、2階(540m<sup>2</sup>)の200席を有する食堂が完成した。

松戸地区も、1981年度に緑風会館が完成したことにより、2階(202m<sup>2</sup>)で食堂と軽食喫茶が千葉大学生生活協同組合により運営されている。

### 第4項 大学会館

大学会館は、教職員・学生相互の交流を深めるため、多目的に利用できる施設として、1981年に竣工した鉄筋コンクリート3階建建物で総面積は2560.5m<sup>2</sup>である。1階には、食堂・売店(書籍、文房具、教育機器)・管理室、2階には、軽食喫茶室兼談話室、談話室、文房具店、書店、3階には会議室(2室)、和室(4室)、音楽鑑賞室が設置されている。

### 第5項 けやき会館

千葉大学けやき会館は、1993年度の補正予算により福利施設・大学ホールとして、

## 第10節 奨学と援護

1994年6月着工、1995年3月竣工した。

本館は、学术交流の促進を図り、本学における研究教育の発展に資するとともに、本学と地域住民との学術および文化の交流並びに本学教職員の親睦・交流に寄与することを目的としており、これまで多数の国際会議および研究会ならびに公開講座等を開催してきた。

「けやき会館」という名称の由来は、千葉市の「市の木」がケヤキであることや、住民と大学の架け橋として大きく育てて欲しいとの願いを込めて命名されたものである。

同館の規模等は表2-14-18のとおりとなっている。

表2-14-18 けやき会館の規模

鉄筋コンクリート造 3階建 総面積2,620m <sup>2</sup>		
大ホール	446m <sup>2</sup>	320席
レストラン	167m <sup>2</sup>	83席
特別レストラン	31m <sup>2</sup>	12席
会議室 1	42m <sup>2</sup>	30人程度収容
会議室 2	78m <sup>2</sup>	40人程度収容
会議室 3	69m <sup>2</sup>	40人程度収容
会議室 4	36m <sup>2</sup>	20人程度収容
レセプションホール	201m <sup>2</sup>	100人程度収容
中会議室	69m <sup>2</sup>	20人程度収容
小会議室	39m <sup>2</sup>	10人程度収容
和室 1・2	34m <sup>2</sup> ・38m <sup>2</sup>	12.5畳 2室
談話室	39m <sup>2</sup>	

## 第10節 奨学と援護

### 第1項 学費の免除

本学の過去4か年の入学料免除実施状況は、表2-14-19のとおりである。

なお、大学院研究科等への入学者については、1995年度から収入予定額の3%を越